

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年六月度 入選句（投稿総数二千二百四十二句・小中学投句数千七百二十九句）

特選

にんじやだねきえたりでたりほたるさん 大垣市 河本 瑛誠(小二)

一年に一度、この季節にホタルが見られるのを楽しみにしていることがよくわかります。葉っぱのかけでじつとしていたホタルや飛んでいるホタルの黄色い光が見えたり消えたりする様子を「にんじやだね」とたとえていいるところがおもしろいです。にんじやのようなホタルを何匹見ることができたのでしょうか。来年のホタルが待ち遠しいですね。

ざりがにが王様きどりで歩き出す 大垣市 西本 多恵(小六)

ざりがにが川の中をのつそのつそと歩く姿、他の生き物を全く気にしていないかのように歩く姿を「王様きどり」とたとえていいるところに引きつけられます。俳句は、中七をどのように表現するかが大切だと言われています。この作品は、まさに中七が決め手となって多くの人の心に残るのでしょうか。元気の出る一句ができました。

花さいたもうすぐなるぞプチトマト 大垣市 廣瀬 光雅(小四)

畑に植えたプチトマトの苗が、毎日少しずつ大きくなっていくのを楽しみにしている光雅さんの気もちが伝わってきます。花が咲いたことを見つけた瞬間、もうすぐプチトマトがなるぞという期待も大きくなったことでしょうか。プチトマトは小さいですが、上五・中七に表現されている作者の気もちの大きさに引きつけられる一句です。

秀逸

ひまわりのまつすぐ見る目まねしたい 美濃加茂市 山本 天空(中三)

衣替え裾に折り目がまた一つ 美濃加茂市 渡辺 愛翔(中三)

風がふき真一文字にたこ上がる 大垣市 藤田 拓希(中一)

あめんぼがぼくの長ぐつあらつてる 大垣市 林 ひろと(小二)

ふわふわわり光のリボン出すホタル 大垣市 増田 翔(小六)

授業中ペーシをめくる南風 大垣市 高木 心夢(小六)

かたつむりにこにこさんぽあめのなか 大垣市 おおはし みそら(小三)

あじさいがスケッチブックにそまったよ 大垣市 一色 和弥(小四)

ばあちゃんとすいかを分けたよ夏気分 大垣市 出井 陽(小五)

弟が作った紙のこいのぼり 大垣市 菊池 奈央(小五)

入選

春風を浴びて授業は心地よい
 夏の予感日差し強い帰り道
 水田に光あふれて田植え待つ
 ときどきのチャイムにのってわかばかぜ
 ざりがにがはさみをむけてつよそうだ
 水鉄ぼうねらいさだめてめいちゅうだ
 ゆつくりとのんきに葉の上かたつむり
 すずめの子屋根にらんで歌ってる
 しゃぼん玉空にうかんで消えてゆく
 のぼりぼう夏の空まであとすこし

美濃加茂市 坂井 裕梨(中三)
 美濃加茂市 中西 詩織(中三)
 美濃加茂市 藤掛 莉果(中三)
 大垣市 細野 さくら(小三)
 大垣市 いわた さき(小二)
 大垣市 大原 葵弓(小三)
 大垣市 佐竹 美仁(小六)
 大垣市 高田 伊織(小六)
 大垣市 伊藤 由里菜(小六)
 大垣市 伊藤 英明(小六)

入選

ぼくのせがとうもろこしにこされそう
 なつよるつきといっしょにランニング
 カプトムシきのなかにいる見つけた
 太陽も早起するよ夏の朝
 まちがえて母にとぼしたみずてっぼう
 あじさいの似てるがちがう青い色
 あじさいがみんなに元気分けている
 暗やみの道案内はホタルたち
 兩岸に青葉重なる風一つ
 くも見るとたべたくなるなかきごおり

大垣市 山岸 かいと(小三)
 大垣市 坂 伶 治(小三)
 大垣市 おおぜき はやと(小三)
 大垣市 栗田 武蔵(小四)
 大垣市 桑原 咲來(小四)
 大垣市 中村 しゅんと(小五)
 大垣市 吉岡 泰基(小五)
 大垣市 糺谷 みう(小六)
 大垣市 傍島 成耶(小六)
 大垣市 大和田 真瑚(小二)

選者吟

紫陽花の青色空に映し出す

佐知子